

令和5年度 総合型選抜 課題探究型 総合考査【スポーツライフマネジメント学科】

試験時間：60分

.....

ヘルスプロモーションとは、1986年にWHO(世界保健機関)が示した健康づくりの考え方です。とくに重要なのは、みんなが健康をめざせるように、健康的な政策づくりをおこなうこと、人々の生活の場である地域の活動を活性化すること、教育などによって個人が適切な意志決定・行動選択をおこなえるような能力を育てること、専門家の支援などの対象を問題対処から予防や健康増進へと方向転換することなどが強調されている点です。

この考え方は、日本や世界の健康に関する環境づくりの背景になっています。これからの社会においては健康をマネジメントする必要がある、それには健康を支援する環境づくりや住民の主体的な参加を促す必要があると考えられます。

問1. 「ヘルスプロモーションとは、人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである」と定義されています。健康を支援する環境づくりにはどのようなことが考えられますか。環境づくりの具体的な例を挙げて説明しなさい。(300字以上 400字以内。横書き)

問2. ヘルスプロモーションの考え方においては、健康を支援する環境づくりへの住民の主体的な参加が重要とされています。<表1>は「暮らしやすいまちづくりへの関わり(既に行っていること)」について表しています。表からどのようなことが読みとれるか具体的に説明しなさい。(300字以上 400字以内。横書き)

<表1>暮らしやすいまちづくりへの関わり（既に行っていること）

	日常生活の困りごとについて、友人・知人同士で助け合う	日常生活の困りごとについて、近隣住民同士で助け合う	医療や福祉サービスが必要とする人のために、日常生活の手助けや見守りなどのボランティア活動をする	病気や障害、生活上の困難を抱える様々な人と職場で一緒に働きながら助け合う	医療・福祉にたずさわる資格を持った専門職として、医療や福祉サービスに直接関わる仕事をする	医療・福祉にたずさわる資格を持った専門職以外で、医療や福祉サービスに直接関わる仕事をする	その他	自分自身が関わることはないので何もしない（特にない）
総数	32.10%	27.10%	11.80%	5.90%	6.40%	4.60%	3.80%	46.90%
子育て福祉サービスの利用経験ありの者	45.60%	35.70%	17.50%	10.80%	11.00%	7.20%	2.40%	29.50%
高齢者・障害者福祉サービスの利用経験ありの者	40.90%	42.40%	23.40%	11.20%	10.00%	7.50%	5.10%	27.20%
18～44歳	29.70%	19.40%	8.70%	6.80%	8.50%	5.80%	2.70%	50.90%
45～64歳	30.80%	25.90%	10.10%	6.90%	6.70%	3.70%	4.40%	47.40%
65歳以上	36.10%	37.70%	17.20%	4.00%	3.60%	4.00%	4.50%	41.60%

出典：厚生労働省ホームページ

厚生労働省政策統括官付政策立案・評価担当参事官室委託「人口減少社会における医療・福祉の利用に関する意識調査」(<https://www.mhlw.go.jp/content/12605000/000684405.pdf>)を加工して作成